

1 開会

2 学校長挨拶

- ・社会の急速な変化に伴い、学校の在り方や求められるものが変わってきている。少子高齢化によって子どもの数が減っている中、特別支援学級の在籍数は増えている。その中で道教委が文科省の委託事業として、効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業として、今年度盲学校と聾学校が地域の巡回指導を行う。聴覚障がい児は聾学校が対象となる。地域の小中学校に在籍する幼児児童生徒のニーズ、つまづき等を踏まえて特別な支援をしていく。今後、成果を道南地区はもちろん、全道全国に発信していけたらと思っている。
- ・本校は今年創立130周年を迎える。先人たちの実績を振り返り、変わらずに大切にすることと時代に合わせて変化に即応できる新しい教育的価値も創造していかなければならないと思っている。

3 出席者確認及び自己紹介

出席者全員で一人一人自己紹介を行う。

欠席者：委員 Ka 様 Kyo 様 Tana 様 Ishi 様 H 様

4 辞令交付

道教委の手続きに時間がかかっており、後日郵送する。

5 運営協議会 会則について

昨年度からの変更はない。不明な点などあれば後日問い合わせしてほしい。

6 会長及び副会長の選任

会長に M 様、副会長に Kyo 様を事務局で選任。

委員により承認される。

7 協議・連絡報告

(1)(2) 学校経営方針およびグランドデザインについて

校長から資料の説明を行った。

質疑)なし。

学校経営方針について拍手にて承認。

(3) 本校の教育活動について

事務局から、スライドを基に各学部等の教育活動について説明を行った。

質疑)なし

連絡報告

(1) ボランティアバンクについて

6月23日現在で登録者61名となった。

質疑)・ボランティアがなかなか集まらないという話をよく聞く中で、昨年度から10名増え

るのはすごいこと。

(2) 130 周年記念式典について

- ・盲聾両校とも当日午前中に学習発表会を行う。

質疑) 大人数が参加する場合、学校の駐車場だけで足りるのか。

→公共交通機関を使って来てもらうことになっている。来賓は車で本校まで来てもらって構わない。

(3) 今年度の協議会の予定について

- ・資料のとおり計画している。近くなったら案内を出すので日程調整をお願いしたい。

質疑) なし。

8 その他

本日の感想等

M 様:いつも授業参観を楽しみに来ている。毎年子どもたちが成長していることを感じる。

子どもの頑張りはもちろんだが、教職員の頑張りも感じられるので嬉しく思っている。函館文化会という団体に所属している。その企画広報委員として、文化とは何を捉えようかということを考えたときに、歴史ある函館聾学校や盲学校も函館の文化の一つではないかという話題になった。会員の方々にも学校の歴史などを知ってもらう機会を作りたいと思っている。そのときは学校にも相談をさせてもらいたい。

N 様:例年運動会にろうあ者の参加が少なかったのに、今年は多かった。呼び掛けをしたのでしょうか?

事務局:HP上でのみ行った。

N 様：130 周年記念式典も同様に集まると良いと思う。

事務局：まだ申し込みは少ないが、このあと集まってくると思う。

Tani 様：町会をやっていると 130 周年記念式典があることを町会で知っている人は少ないと感じる。HP を見ている人も限られていると感じている。小中学校と交流しているので、そこから家族に伝わるなど、地域に聾学校の存在が当たり前に感じられるようになれば、記念式典への興味・関心も自然に出てくるようになると思い、町会でも宣伝をしていきたいと考えている。子どもの成長を嬉しく思う私のような人が、地域の方々にもたくさんいると思うので、地域との交流はどんどん広げていくべきだと思う。運動会の全校リレーで、走る距離が一人一人違う中で、欠席した子どもの代わりに走る先生や、小さい子どもを助けようとする様子を見て、日頃のかかわりが見えたように思い、観覧したみんなが素晴らしいと感動して帰った。もっとたくさんの地域の方々にも見てもらえるように宣伝すると良いと思う。

A 様：授業の内容を見て、学力をつけるために頑張っているのが分かった。学力と地域との交流を丁寧に行っていることが改めて分かった。子どもを中心に考えて、先生方の日頃の御苦勞も協議会で共有しながら進められると良いと思っている。

9 閉会